

KEY TOPIC

進化のための変化——2026年、中広グループの抱負

フィフティエックス

50Xプロジェクト始動！

2026年の幕が開け、「Data Driven Innovation」をスローガンに、「生産性向上」をテーマに全社一丸で走ってきた2025年度も残り3カ月となりました。広告業を通して地域社会に貢献することを理念とする中広グループの2025年を振り返りつつ、2026年にどのような飛躍を目指すのか。大島斉社長に抱負を聞きました。



代表取締役社長 大島 斉

AIを実装し出会いに
恵まれた2025年

あけましておめでとうございます。旧年中は当社グループの事業推進におきまして、クライアント、読者、関係者の皆様と、多くの方々に支えていただきました。厚く御礼申し上げます。

2025年の抱負を、私は「AI元年」としました。ご存知の通りAIは今や、ビジネスの現場はもちろん日常生活にも浸透し、従来の様式や効率を大きく変えています。

当社グループにおいては2025年、独自の生成AIシステム「CAI(解)」を開発しました。これによって原稿制作の時間を飛躍的に低減させるだけでなく、新たな表現アイデアや切り口の発見を可能とするなど、生産性やクリエイティブ力を向上させることができました。

さらに、膨大なアーカイブから高反響の事例を業種別に検索するなど改修を重ね、実践知の活用や反響の再現性など、新たな領域にも挑戦。CAIはさらに進化し、2026年の事業推進にも大きな役割を果たす予定です。

新しい仲間と出会えたのも、2025年の大きなトピックスです。7月には株式会社中広ワークインがグループイン。同社が持つ地域の求人課題の解決力を、当社グループに早々に融合してくれました。また、アライアンス事

※VCとはVoluntary Chain(ボランティア・チェーン)の略で複数の仲間が独立性を保ちながら、志を共に協同で企画・編集・営業・運営する組織。



中広グループの次の50年に向けた変革の第一歩、50Xが2026年から始動

業では新しいVC※加盟社をお迎えただけでなく、東北、中四国九州など、新たに地方ブロックごとのVCサミットを開催。情報誌づくりの最前線にいる現場の方々との交流を経て、商品力を磨く機会を創出できました。2月には関東VCサミットも開催する予定です。

50周年に向けて
変革を起こす2026年に

2026年、株式会社中広は創業49年を迎えますが、私は来るべき50周年を「100年企業に向けた転換点」にすると決意しています。日本において、100年続いている企業は全体の1〜3%程度しかありません。中広グループを必ずその輪に加えるべく、次の50年、今以上に地域の皆様から愛され、必要とされる、革新的で強固な企業を目指します。

そのための合言葉は、「50X(フィフティエックス)」です。

すなわち、50周年を境に中広グループをトランスフォーメーション(変革)させる。具体的には、地域読者の生活動線の全てを支える「地域データのインフラ企業」に進化させる。そのための2026年にすることです。

2025年、私たちは情報誌の求人において、紙からWEBへの拡散プランを構築し、紙のみの掲載時に比べて反響数を500%増加させるという、確かな成果を得ることができました。これは紙が得意な潜在層への訴求とWEBが得意な顕在層への訴求の相乗効果

を、意図的に引き起こした結果です。2026年はこの仕組みをグルメやビューティー、スクールといった他ジャンルでも実装し、ハイブリッド広告をさらに進化させます。

読者を「見える化」して
HAPPY MEDIA®を超進化

情報の伝達と利用にWEBを絡ませることで、人々の属性やアクセス時間といった基本情報はもちろん、AI(CAI)による分析で、地域ごとの嗜好や消費パターンまでデータ化することが可能です。つまり、地域読者を見える化し、あらゆる企業にとって常に最適な企画、広告内容を提案し、高い反響をお返しできるということです。当然、読者に対しては常に魅力的なコンテンツを提供できるということでもあります。

当社グループの強みは紙による全国的な配布網、地域のご家庭に直接お届けすることによる読者への圧倒的到達力です。これは全国紙を含め、誰にも真似できません。だからこそ、紙×データ×AIでHAPPY MEDIA®を超進化させて、価値をさらに向上させる。これが2026年の抱負であります。

地域経済の活性化、そして地域課題の解決は我々が担うのだと強く信じ、2026年もグループ一丸となって精進していく所存です。本年も変わらぬご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大島 斉

年頭所感

——「ありがとう」が飛び交う企業群へ——

あけましておめでとうございます。2026年が静かに、しかし確かな鼓動をもって幕を開けました。ご家族お揃いで新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。そして、今日この日もそれぞれの持ち場で新しい一歩を踏み出したすべての仲間、深い感謝と敬意を表します。

「恕」から「寄り添う」
そして「ありがとう」へ

中広グループは7社742名で新年を迎えました。昨年7月にはCWIが仲間に加わり、多士済々の体制で創業49期に入ります。来年迎える創業50周年、その先の100周年への布石を打ちながら、「広告の力で日本を元気にする」という大義を現実化する勝負の年です。

企業とは単に利益を上げる装置ではなく、思想と大義を宿した人の集団です。思想なき組織はやがて漂流し、大義なき事業はいずれ空洞化します。一昨年、私は論語の一節「それ、恕なり」を抱負に掲げました。恕とは思ひやり、「相手の立場に身を置いて考えよ」という普遍の教えます。

広告とは知らせめ、行動せしめて初めて成立します。故に広告を担う私たちは、誰よりも深く人の心を理解しなければならない。その根本が「恕」です。相手の立場で考え、痛みを思い、希望を先回りして感じ取る。この思想を内に刻んだ集団になってこそ、大義に近づけます。

昨年は一歩踏み込み、「寄り添う」としました。相手が見ている世界をそのまま認める。この覚悟が寄り添いです。分かろうとする努力を手放さず、理解しようとし続ける姿勢が、組織を芯から強くします。十分であったとは言えませんが、寄り添おうとする意志は確実に根付き始め、今のたくましい中広グループを形づくっていると確信しています。

では2026年に養うべき「心」とは何か。今年の中核的思想を、私は「ありがとう」と定めます。私たちは決して一人で生きているわけではありません。成功も失敗も、必ず「誰か」の存在があります。そうした現実を肯定的に受け止める姿勢を、私は「すべて善し」と表現しています。

今日働けること。仲間がいること。家族がいること。健康であること。すべては当たり前ではありません。2026年、「ありがとう」が社内に飛び交う一年にしようではありませんか。「ありがとう」が響き合う職場には必ず笑

顔が生まれ、その文化がある企業は必ず100年続きます。

AI活用元年
AIで先頭に立つ一年に

世界に目を向けると、日本を取り巻く環境は厳しさを増しています。地政学的な緊張、中国の圧力、世界経済の不安定化——世界は決して穏やかな時代にはありません。国力低下という問題も抱える中、日本に残された唯一にして最大の資源は「人」にほかなりません。

働き方改革のもと、働かない改革が進んだ側面は否めません。勤勉さを失った国家は、必ず衰退します。働いて、働いて、なお働く。2025年の新語・流行語大賞となった高市首相の言葉通り、この当たり前の倫理をもう一度取り戻さねばなりません。



相崎繁徳 「驚馬十駕(どばじゅうが)」

もちろん、痛みは伴います。高齢者福祉、財政の無駄、租税優遇、補助金に、基金と、見直すべきものは山ほどあります。しかし、国民が「このままではいけない」と気づき始めたこと自体、歴史の小さな転換点です。働いて働いて、働く企業が成長し、従業員が豊かになることを備えない国にしたいものです。

日本に残された武器は人ですが、一方で人口減少という構造問題を抱えています。だからこそ、今年の社会最大のテーマとして、「AI活用元年」を挙げます。IT分野で何周も遅れてきた日本ですが、AIは今からでも十分に追い越せる可能性があります。国家が本気で資金と人材を投入すれば、昇る太陽は止まらないのです。

有能な人材が揃う中広グループもAIに本気で挑みます。CAI(中広の生成AIシステム)への投資を強め、広告業界におけるAI活用の先進企業として、一歩でも二歩でも先を歩む一年にしなければなりません。AIに仕事を奪われるのではなく、共存共栄する。それが我々の矜持です。

日本全国5,000万部発行
躍進を導く四つの核心

断言します。2026年は中広グループ大躍進の年となります。理由は四つあります。

紙とネットを融合したハイブリッド広告が、最も有効かつ効率的な広告手法として広く認知される年になる。これが一つ目の理由です。中広グループが発行するHAPPY MEDIA®の部数は1,450万部。日本最大級の規模を有する紙メディアへと成長しました。ネット広告だけでは補えない価値が明確となっている今、我々の時代が到来しました。

二つ目は、『地域みっちゃく生活情報誌®』1,250万部を家庭に直接届ける力です。この圧倒的配布網と到達力を有する広告会社は、日本で中広グループだけでしょう。買い物、健康づくり、仕事探し、地域とのつながり——社会を覆う不透明感が増しているからこそ、情報を通じて足元の生活を支える役割が求められています。全国5,000万世帯に情報誌を届け、地域の生活を広告の力で支える素地は整っています。我々が担っているのは地域の活性化だけでなく、地域課題や社会課題の解決。5,000万部という目標は、生活インフラとしての一つの到達点なのです。

三つ目は「人は石垣、人は城」という言葉に集約されます。同じ志を持つ仲間が千人規模に到達しようとしていることが、中広グループの発展繁栄をもたらす何よりの力です。

そして四つ目は、そんな仲間たちが、人間的にも着実に成長していること。広告とは生活の鏡であると申します。地域を愛し、学び合い、ともに育ち、喜怒哀楽を受け止める。広告に関わる私たちは、誰よりも高い教養が求められます。教養経営(リベラルアーツ)——すなわち生活を、人間を深く理解する力が、社風として根付きつつあります。この四つが大躍進を確かにします。

頼もしく成長し続ける仲間たちにこの言葉を贈ります。「驚馬十駕」(驍は一日にして千里なるも、驚馬も十駕すれば之に及ぶ)。中国の思想家荀子(じゆんし)の言葉で、「努力を重ねれば、優れた才能の人たちに並ぶことができる」という教えです。大切なのは積み上げる力。継続できる集団であらうではありませんか。

グループ全員の健闘と成長を心から祈りつつ、2026年が中広グループにとって最も人間的で、最も力強い一年となると確信して、年頭の挨拶といたします。本年もともに学び、ともに働き、ともに笑い、「ありがとう」と言い合える上機嫌な一年にいたしましょう。

2026、睦月、岐阜城から昇る初日の出に感謝して、如水こと二代目後藤数次

12,458,188部

部


茨城県		
県内発行 雑誌数	県内 総発行部数	
5誌	250,200部	
① ひたち vol.194	日立市	62,000部 25日発行
② にしも vol.151	筑西市・下妻市 栃城市	44,000部 25日発行
③ こがも vol.127	古河市・境町 栃木県野木町	52,000部 25日発行
④ かしず vol.146	鹿嶋市・神栖市 潮来市	50,000部 25日発行
ちいき新聞 みどり平版 vol.451~454	守谷市・つくばみらい市・取手市	42,200部 毎週金曜日発行
栃木県		
県内発行 雑誌数	県内 総発行部数	
1誌	52,000部	
⑤ おりっぷ vol.115	小山市	52,000部 25日発行
群馬県		
県内発行 雑誌数	県内 総発行部数	
5誌	343,000部	
太田フリモ vol.106	太田市	50,000部 25日発行
桐生みどりフリマ vol.98	桐生市・みどり市	50,000部 25日発行
伊勢崎フリマ vol.143	伊勢崎市	63,000部 25日発行
前橋フリマ vol.143	前橋市	60,000部 25日発行
高崎フリマ vol.338	高崎市	120,000部 25日発行
埼玉県 100万部以上!		
県内発行 雑誌数	県内 総発行部数	
9誌	1,065,185部	
ワッキーズ vol.130	久喜市	52,000部 第4月曜日発行
とねじ vol.130	羽生市・加須市 行田市	56,400部 第4月曜日発行
10周年 NAOZANE vol.121	熊谷市	62,000部 1日発行
Seien vol.64	深谷市	44,000部 20日発行
123 埼玉三県版 vol.664	所沢市・入間市・狭山市・飯能市・川越市・ふじみ野市 三芳町・富士見市・日吉町	175,045部 第2または第3金曜日発行
ARIFT		
埼玉南西版 vol.1843	志木市・新座市 朝霞市・和光市	81,190部 第2または第3金曜日発行
埼玉南版 vol.1843	戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区 北埼玉区・板区・中央区	247,940部 第2または第3金曜日発行
埼玉中央版 vol.1842	さいたま市西区・岩槻区 大宮区・見沼区・北区 上尾市・蓮田市・桶川市	159,520部 第1または第3金曜日発行
埼玉東版 vol.1842	越谷市・春日部市 草加市・吉川市 三郷市・八潮市	187,090部 第1または第3金曜日発行
東京都		
都内発行 雑誌数	都内 総発行部数	
1誌	99,820部	
ARIFT		
東京北東版 vol.1842	足立区	99,820部 第1または第3金曜日発行

千葉県 100万部以上! 先月より1,086部増		
県内発行 39誌	県内 総発行部数 1,699,725部	県内 寄附到達率 50%以上
ちいき新聞		
佐倉西版 vol.2290~2293	佐倉市	43,680部 毎週金曜日発行
東葉版 vol.2290~2293	八千代市	62,440部 毎週金曜日発行
八千代台版 vol.2290~2293	千葉市花見川区 八千代市・習志野市	43,295部 毎週金曜日発行
習志野版 vol.2290~2293	習志野市・船橋市 千葉市花見川区	40,270部 毎週金曜日発行
船橋東版 vol.2290~2293	船橋市	46,540部 毎週金曜日発行
津田沼版 vol.2290~2293	船橋市	40,190部 毎週金曜日発行
習志野西版 vol.2290~2293	習志野市	38,500部 毎週金曜日発行
幕張版 vol.2290~2293	千葉市花見川区 美浜区	37,800部 毎週金曜日発行
千葉NT版 vol.1405~1408	印西市・白井市 船橋市	47,350部 毎週金曜日発行
成田版 vol.1405~1408	成田市・栄町 富里市	42,290部 毎週金曜日発行
佐倉東・酒々井版 vol.1405~1408	佐倉市・酒々井町	23,410部 毎週金曜日発行
富里・八街版 vol.1405~1408	八街市・富里市 成田市	19,510部 毎週金曜日発行
船橋北版 vol.1287~1290	船橋市	32,630部 毎週金曜日発行
鎌ヶ谷版 vol.1287~1290	鎌ヶ谷市・白井市	40,105部 毎週金曜日発行
船橋南版 vol.1171~1174	船橋市	46,860部 毎週金曜日発行
船橋中央版 vol.1171~1174	船橋市・市川市	47,485部 毎週金曜日発行
八幡版 vol.1171~1174	市川市・松戸市	53,985部 毎週金曜日発行
市川版 vol.1163~1166	市川市	40,625部 毎週金曜日発行
船橋西版 vol.1171~1174	市川市・船橋市	56,015部 毎週金曜日発行
美浜版 vol.1276~1279	千葉市美浜区	45,817部 毎週金曜日発行
千葉北版 vol.1276~1279	千葉市花見川区 稲毛区	29,605部 毎週金曜日発行
若葉版 vol.1276~1279	千葉市若葉区 四街道市	43,785部 毎週金曜日発行
四街道版 vol.1276~1279	千葉市稲毛区 若葉区・四街道市	35,859部 毎週金曜日発行
千葉中央版 vol.1276~1279	千葉中央区・稲毛区 若葉区	46,965部 毎週金曜日発行
稲毛版 vol.1276~1279	千葉市稲毛区	42,105部 毎週金曜日発行
蘇我版 vol.1276~1279	千葉市中央区	33,061部 毎週金曜日発行
千葉南版 vol.1276~1279	千葉市中央区・緑区 市原市	56,092部 毎週金曜日発行
市原版 vol.1178~1181	市原市	58,633部 毎週金曜日発行
木更津・袖ヶ浦版 vol.1178~1181	袖ヶ浦市・木更津市	37,508部 毎週金曜日発行
松戸厚田辺版 vol.1163~1166	松戸市	62,435部 毎週金曜日発行
八柱・五香版 vol.1157~1160	松戸市・柏市 鎌ヶ谷市	65,330部 毎週金曜日発行
新松戸・小金版 vol.1157~1160	松戸市	63,665部 毎週金曜日発行

流山版 vol.1011~1014	流山市	47,840部 毎週金曜日発行
柏中央版 vol.1036~1039	柏市	38,895部 毎週金曜日発行
柏南版 vol.1036~1039	柏市	35,995部 毎週金曜日発行
柏北版 vol.1036~1039	柏市・我孫子市	39,595部 毎週金曜日発行
柏西版 vol.1036~1039	柏市・流山市	37,185部 毎週金曜日発行
我孫子版 vol.1057~1060	我孫子市	39,455部 毎週金曜日発行
野田版 vol.923~926	野田市	36,920部 毎週金曜日発行
神奈川県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
3誌	580,560部	
ARIFT		
横浜南版 vol.1844	横浜市長子区・港北区・神奈川区・中区・西区・南区・港南区・旭区・保土ヶ谷区	174,040部 第3号は第4金曜日発行
横浜北版 vol.1844	横浜市長北区・鶴見区・神奈川区・青葉区・緑区・都筑区	226,830部 第3号は第4金曜日発行
川崎・大田版 vol.1844	川崎市中原区・川崎区・幸前区・東京都大田区・品川区	179,690部 第3号は第4金曜日発行
新潟県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
5誌	343,000部	
まごど下越! vol.93	新発田市・村上市（一部） 新潟市北區	54,000部 30日発行
まごど県央! vol.141	三条市・燕市 加茂市・弥彦村	64,000部 25日発行
まごど上越! vol.123	上越市・妙高市	63,000部 20日発行
まごど新潟! vol.4	新潟市中央区・西区	60,000部 28日発行
まごど生活情報 vol.497~498	長岡市・見附市・ 小千谷市	102,000部 第2・4土曜日発行
富山県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
1誌	33,500部	
nukawa vol.3	魚津市・黒部市・ 滑川市	33,500部 月末発行
福井県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
1誌	33,928部	
kirameki club vol.211	敦賀市・美浜町	33,928部 25日発行
山梨県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
3誌	154,000部	
ピレ vol.161	館沢市・山梨市 甲州市	38,000部 25日発行
Parupi 甲州市・甲斐市 中央・昭和町 vol.260	甲州市・甲斐市 中央・昭和町	82,000部 第4日曜日発行
なないろ vol.149	韮崎市・北杜市	34,000部 20日発行
長野県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
1誌	81,000部	
34 月刊ふたば vol.409	諏訪市・茅野市 岡谷市・下諏訪町 原村・富士見町	81,000部 25日発行
岐阜県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率 87.9%
12誌	741,745部	
SARUBOBO vol.358	高山市・飛騨市 下呂市・白川村	54,500部 28日発行
GUJO vol.205	郡上市	20,000部 20日発行
maika vol.232	中津川市・惠那市	44,600部 25日発行
いせる vol.206	土岐市・瑞浪市	36,610部 25日発行
おりべ vol.260	多治見市	44,970部 25日発行

かにさんくぶ vol.367	【かに版】 可見市・御嵩町	【かに版】 44,470部
	【かに版】 【伊勢】津波加茂市・八百津 坂根町・川辺町・七宗町 白川町・富加町・東白川村	【かも版】 31,150部
ぎららくらぶ vol.230	関市・美濃市	75,620部 25日発行
たんたん ^{Sp} vol.257	各務原市	42,777部 20日発行
GIFUTO vol.200	【北部版】 岐阜市・北部 山県市	【北部版】 76,423部
	【南部版】 岐阜市南部 岐阜町・笠松町	【南部版】 119,995部
mintcup vol.226	本巣市・瑞穂市 北方町・大野町	196,418部 20日発行
はしまる vol.106	羽島市	47,000部 20日発行
Wao!Club vol.273	【南東版】大垣市南 東部・海津市・養老町 輪之内町・安八町	【南東版】 46,652部
	【北西版】大垣市北西 部・揖斐川町・池田町・神 戸町・関ヶ原町・垂井町	【北西版】 47,808部
		94,460部 25日発行
静岡県		
県内発行 媒体数		県内 総発行部数
8誌		500,870部
mydo		
三島市・清水町 長泉町・裾野市版 vol.310	三島市・清水町 長泉町・裾野市	68,100部 月末発行
沼津版 vol.358	沼津市	57,800部 月末発行
富士版 vol.396	富士市	70,100部 月末発行
富士宮版 vol.163	富士宮市	33,100部 最終土曜日発行
葵区版 vol.128	静岡市葵区	78,750部 第3または第4土曜
駿河区版 vol.125	静岡市駿河区	75,370部 第3または第4土曜
清水区版 vol.97	静岡市清水区	67,250部 第3または第4土曜
ふじえーら vol.90	藤枝市	50,400部 20日発行
愛知県 100万部以上!		
県内発行 媒体数		県内 総発行部数
26誌		1,721,650部
くれおん		
江南・大口・扶桑版 vol.154	江南市・大口町 扶桑町	60,600部 末日発行
岩倉・北名古屋版 vol.136	岩倉市 北名古屋市	58,250部 末日発行
一宮・稲沢版 vol.307	一宮市 稲沢市	208,400部 20日発行
清須・あま版 vol.102	清須市・あま市	66,400部 末日発行
海部・津島版 vol.86	津島市・大治町 蟹江町・愛西市	59,900部 28日頃発行
西区・北区版 vol.9	名古屋市西区・北区	63,200部 末日発行
フリムUP		
北版 vol.3	名古屋市中村区 ・中川区（北部）	61,800部 第4木曜日発行
南版 vol.3	名古屋市中川区 （南部）・港区	60,000部 第4木曜日発行
守山フリモ vol.167	名古屋守山区	68,200部 第4木曜日発行
緑区フリモ vol.161	名古屋緑区	83,200部 第4木曜日発行
HANAMARU vol.18	豊橋市	100,000部 最終金曜日発行
ぶらりん vol.111	豊田市	115,600部 末日発行
西尾フリモ vol.121	西尾市	41,300部 第3金曜日発行
アサヒトセ vol.162	尾張旭市 瀬戸市	64,900部 第4金曜日発行

あやもっつ vol.1	東郷町	20,000部	第4金曜日発行
KA.NA.U CLUB vol.98	みよし市	23,100部	第3金曜日発行
ゆいまる vol.114	豊明市	26,610部	第3金曜日発行
cocolu vol.9	刈谷市・知立市	62,000部	第3金曜日発行
北知多フリモ vol.59	大府市・東海市 東浦町	65,000部	第4金曜日発行
安城フリモ vol.58	安城市	40,300部	第3金曜日発行
岡崎フリモ vol.43	岡崎市	62,300部	第3金曜日発行
オレンジクラブ vol.18	蒲郡市 額田郡幸田町	35,000部	第4金曜日発行
Step vol.262	半田市	65,300部	25日発行
はる vol.154	春日井市	114,900部	第4金曜日発行
ぐるうぱ vol.130	小牧市・豊山町	60,100部	第4金曜日発行
リトル vol.162	大山市・扶桑町 大口町	35,290部	第4金曜日発行
三重県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率 79.3%	
いづみ vol.238	桑名市・いなべ市 東員町・木曽町	70,740部	28日発行
よさこい vol.219	【北部版】 四日市市北部 朝日市・川越町	【北部版】 59,143部	28日発行
	【南部版】 四日市市南部 菟野町	【南部版】 64,990部	
		124,133部	
		28日発行	
Bellve vol.233	鈴鹿市・亀山市	84,800部	28日発行
リィーガ vol.173	名張市・伊賀市	55,561部	28日発行
つるびす vol.213	津市	104,229部	28日発行
あまみんぐ vol.208	松阪市・多気町 明和町・大台町	73,465部	28日発行
イトー vol.183	伊勢市・鳥羽市 玉城町・度会市	64,940部	28日発行
さみち vol.122	志摩市	20,700部	25日発行
からっと vol.151	尾鷲市・紀北町 熊野市・御浜町 紀宝町	26,341部	28日発行
滋賀県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率 50%以上	
botejako vol.224	長浜市・米原市	56,900部	25日発行
konki vol.249	彦根市・多賀町 甲良町・雲崎町 愛宕町	69,167部	25日発行
オウティ vol.179	【近江八幡・竜王版】 近江八幡市 竜江町	【近江八幡版】 35,408部	25日発行
	【東近江版】 東近江市	【東近江版】 40,791部	
		76,199部	
		25日発行	
びわこ			
大津北版 vol.158	大津市北部	54,960部	25日発行
草津・守山版 vol.9	草津市・守山市	64,940部	25日発行
大阪府			
府内発行 媒体数	府内 総発行部数	府内 世帯到達率 79.3%	
びわこ vol.1243	枚方市・京都府八幡市・京田辺市	150,000部	第4金曜日発行
寝屋川・枚方版 vol.1206	寝屋川市・枚方市・四條畷市	100,000部	第4金曜日発行
守口・門真版 vol.1206	守口市・門真市 大阪市旭区（一部）	100,000部	第3金曜日発行
泉州版 vol.894	高石市・枚方市・金沢市・三好市・三宅市・岸和田市・泉南市・淡路市・堺市・天王寺区・東淀川区・東成区・東旭区・東淀川区・東成区・東旭区	185,020部	第1金曜日発行

 <div>南大版販 さかぐち vol.91</div>		堺市・大阪狭山市・富田 林市・河内長野市・松原 市・羽曳野市・藤井寺市	160,000部 第4金曜日発行
和歌山県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
2誌	64,000部		
まいねが vol.111		岩出市・紀の川市	40,000部 20日発行
まいとん vol.17		橋本市・かつらぎ町	24,000部 20日発行
奈良県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
2誌	103,000部		
かいる vol.98		橿原市	43,000部 28日発行
ぽん 奈良・ 山・ひとみ版 vol.650		奈良市・生駒市・京都市木 津川市・精華町・京田辺市 ・大阪府四條市・田原市	60,000部 第2金曜日発行
鳥取県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
3誌	159,700部	66.4%	
つばさ vol.154		鳥取市	64,000部 第4月曜日発行
くら vol.118		倉吉市・三朝町 津梨浜町・北栄町 琴浦町	37,200部 第4月曜日発行
こはく vol.142		米子市・境港市・日 吉津村・南部町・伯 耆町・島根県安来市	58,500部 第4月曜日発行
広島県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
2誌	106,000部		
はっカラ vol.17		廿日市市	41,000部 20日発行
えるびん vol.11		福山市	65,000部 25日発行
香川県			
		先月より3,700部増	
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	73,200部		
マル・タ vol.123		丸亀市・宇多津町 坂出市（一部）・多度 津町（一部）・まんの う町（一部）・琴平町 ・善通寺市（一部）	73,200部 25日発行
高知県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	40,030部		
こべと vol.117		南国市 香南市・香美市	40,030部 22日発行
福岡県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
3誌	162,500部		
むな小 vol.162		宗像市・福津市	64,500部 20日発行
おるね vol.134		古賀市・新宮町	38,000部 20日発行
まいでん vol.128		福岡市 西区・早良区	60,000部 20日発行
佐賀県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
2誌	148,150部		
Toss vol.127		鳥栖市・基山町上 峰町・みやき町	44,500部 25日発行
ぶざ 佐賀 vol.460		佐賀市	103,650部 月末発行
大分県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	47,000部		
てくてくぶら vol.220		臼杵市・津久見市 佐伯市・大分市東部	47,000部 25日発行
宮崎県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	83,100部		
Palms vol.410		宮崎市	83,100部 25日発行

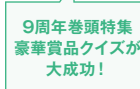
沖縄県		
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	
1誌	32,200部	
宮古ストーリー vol.70	宮古島市	32,200部 25日発行
『地域みっちゃく生活情報誌』設置版・季刊発行等		
愛知県		
はまなす vol.289	豊橋市・豊川市・田原市・濱都市・新城市・静岡県湖西市	57,000部 最終金曜日発行
香川県		
セトナミ vol.9	東かがわ市・さぬき市	35,000部 20日(年4回)発行

『地域みっちゃく生活情報誌』設置版・季刊発行等

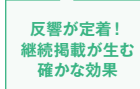
愛知県	豊橋市・豊川市・田原市・清海市・新城市・静岡県湖西市	57,000部 最終金曜日発行
はなまる。 vol.289		
香川県	東かがわ市・さぬき市	35,000部 20日(年4回)発行
セトナミ vol.9		

掲載レスポンス

『地域みっちゃく生活情報誌』に掲載した
 広告の反響をご紹介します。



9周年記念クイズ企画に547件の応募が寄せられ、発行部数4万部に
対し、応募率1.37%を
達成。記事を読み込んで
もらう仕掛けで、読者は
楽しみながら参加でき、
掲載店も自店をしっかり
知ってもらう良い機会
になりました。



継続してご掲載いただいているリフォーム店。掲載を重ねるごとに反響が右肩上がりが増えていて、今ではコンスタントに問い合わせを獲得されています。継続掲載による信頼感の醸成と、集客効果の大きさを実感いただいています。

情報誌見積サイト

HAPPY MEDIA GUIDE

全国で配布しているフリーマガジン

『地域みっちゃく生活情報誌』への
 広告出稿の見積作成、
 問い合わせが可能！

サイズ別料金が知りたい！

見積もりが今すぐ欲しい！

サイトで今解決！



クリック！

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

18周年の節目に贈る、十八番にまつわる大特集

地域みっちゃく生活情報誌

地域で輝く人の十八番からまちの魅力を再発見

創刊18周年を迎えた『よっかいちai』（三重県四日市市）11月号のコンセプトは、「MyOHAKO MyTOWN あなたの“十八番”が、街を輝かせる」。14の企業・店舗に参加いただいた巻頭特集「“ワタシ”の18番教えちゃいます」では、それぞれの仕事や活動に対するこだわりを紹介。4ページにわたる読みごたえのある企画となりました。巻頭連動企画「この店の18番教えちゃいます!」は、シックで落ち着いた巻頭特集とは対照的に、ポップで楽しいデザインを採用。表紙から巻頭連動企画に至るまで、十八番というテーマを通じて、地域の魅力を再発見できる誌面となりました。

クライアントからは「話題に出されることが増え、記事に共感いただいた方からのお問い合わせもありました」。読者からは「初めての切り口で面白い。顔が見えるっていいですね!」といった反響が寄せられています。これからも地域に愛される情報誌として、まちを元気にする企画づくりにまい進してまいります。

（よっかいちai編集室・齊藤）

住宅展示場で産学協力のイベントを開催

イベント

損得を超えた価値を創出する企画力

群馬県伊勢崎市の住宅展示場を運営する担当者より、「伊勢崎高校吹奏楽部とコラボして、展示場を発表の場として活用できないか」と相談いただいたことがきっかけとなり、実施に至った本イベント。コンテンツとしては指揮者体験、演奏、生徒や展示場のハウスメーカー担当者のインタビューと盛りだくさん。さらに、地元で活躍するインスタグラマーを招き、ラジオの公開生放送も実施しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、145人が来場し、大盛況のままイベントが終了しました。

近年、来場者を集めるには、お得感のあるコンテンツが求められる傾向にありますが、今回の産学協力イベントは、損得感情を超えた価値を生み出した結果、多くの来場者のにぎわいをつくり出すことができました。当社では、事業所独自の課題解決から地域貢献に至るまで、幅広く柔軟に提案させていただきますので、お悩みの際はどうぞお申し付けください。

（伊勢崎フリモ編集室・中村）

地域に広がる情報発信力が生む反響効果

地域みっちゃく生活情報誌

地域の名店の快挙を、まちの誇りとして発信

2025年5月、三重県津市のバウムクーヘン専門店「トキノワ」が「全国菓子大博覧会」にて最高賞である名誉総裁賞を受賞。「この受賞をたくさんの人に知ってもらいたい」というオーナーの思いを伺い、『つうび〜す』の表紙・巻頭特集を活用した情報発信をご提案して、企画が実現しました。

巻頭特集では、バウムクーヘンづくりにかけるオーナーの思いとこだわりを丁寧に紹介。読者に喜んでもらいたいと、受賞商品もプレゼントとして提供いただきました。発行後、読者からは「好きなお店が紹介されていてうれしい」「地元このような名店があることを誇りに思う。買いに行きます」などの声が集まり、プレゼントには1,300通を超える応募がありました。オーナーからも「大きな反響がありました」と、掲載効果に大変満足いただいています。これからも誌面を通じた地域情報の発信と、地元経済の活性化を目指していきます。

（つうび〜す編集室・下）

データに基づく課題発見をサポート

アンケート調査

来場者の評価を可視化して課題抽出へつなげる

名古屋駅から徒歩圏内に位置する「ノリタケの森」は、ミュージアム、ショップ、レストラン、カフェなど多彩な魅力を備えた産業観光施設です。このたび当社は、同施設に関する調査を受託し、来園者と園内の施設利用者を対象としたアンケートを実施しました。

きっかけは、以前ご提案した謎解きイベント企画書内の「アンケート集計」「効果測定」「分析」に関心を持っていただいたことでした。クライアントから提示いただいた質問事項をもとに設問を設計し、協力会社のサポートを得ながら調査を実施。来場者の評価の把握を目的とした本業務を通じ、今後の課題抽出に生かせるデータを提供し、期待に応えることができました。

当社では課題解決に向けたサポートはもちろん、課題そのものを明らかにするための調査や分析も可能です。業務改善や新規施策の検討など、必要な情報の整理段階からご相談を承りますので、お気軽にご相談ください。

（中部PM2課・鳥丸）

CHUCO CLUB

第1回中四国九州VCサミット開催

11月28日、初の中四国九州エリアVCサミットを福岡市・博多にて開催。各社から読者のためのさまざまな工夫を凝らした施策、地域課題への取り組み等が紹介されました。

その後は6組に分かれ、グループディスカッションを実施。初対面のメンバーが多いなか、情報誌で地域を活性化したいという共通の目的のもと、どのテーブルでも熱い議論が交わされました。終了後には、もっと議論の時間がほしかったという要望も多々ありました。

本エリアでは7社15誌約85万部の『地域みっちゃく生活情報誌』が発行されています。次回開催時には、より多くの仲間と発行理念を共有し、地域を元気にできるよう、この輪を拡げてまいります。

（アライアンス事業部・高橋）



▲ 広島から宮崎まで9社26名のVC・VC2加盟社・中広グループが集結



▲ 白熱したグループディスカッション

2025年度インターンシップを開催

去る12月4日、名古屋開催を皮切りに今年度のインターンシップがスタート。冒頭では大島社長より、経営理念や今後の事業展望について力強いメッセージが送られ、創業50周年の節目に入社を目指す大学3年生へ熱意を伝えました。続く広告業界セミナーでは広告の価値や魅力を紹介し、グループワークでは広告営業・編集体験を通じて、当社への理解を深めていただきました。最後の先輩交流会では、和やかな雰囲気の中、当社の温かい社風を感じてもらえる時間となりました。

今回の参加者10名の満足度は5点満点中4.6と高評価で、12月・1月にも複数回の開催を予定。今後も新たな人材の発掘と育成に努めてまいります。

（人財開発課・伊藤）



▲ 学生たちに力強く語りかける大島社長



▲ 先輩社員を囲み、和やかに会話が弾んだ交流会

VCTOPIC

埼玉県『TOWN NEWS NAOZANE』株式会社ビーアイビー

創刊10周年、地域への感謝を形にした特別号

埼玉県熊谷市で発行する『TOWN NEWS NAOZANE』。創刊10周年記念号の表紙は、過去120号分の表紙をすべて並べて紹介しました。続けて恒例のプレゼント企画を実施。昨年は総発行部数の約1.5%の応募があった人気企画で、応募数は年々増加傾向にあります。また、創刊から掲載いただいているクライアントをはじめ、編集部、ライター、ポスティングスタッフからのメッセージも掲載しました。

読者からは「表紙を眺めるのが楽しい」「編集部の皆さんの心意気を感じられます。今後も頑張ってください」等とお祝いのメッセージをいただきました。これからも「熊谷市を元気にしたい」という思いを胸に、地域みっちゃくの情報を届けていきます！



▲ 『TOWN NEWS NAOZANE』12月号プレゼント企画

部署だより N0.144

FM事業部『高崎フリモ』編集室



▲ 『高崎フリモ』編集室のスタッフ

高さ40メートルを超える白衣大観音が有名な群馬県高崎市で、前身時代から数えて30年近くの間、毎月12万部を発行している地域みっちゃく生活情報誌『高崎フリモ』。その編集・制作作業を担当しているのが当編集室です。高崎の街歩きがもっと楽しくなるように、市内の話題やおすすめスポットに加え、高崎だるまや、高崎産小麦で製造したパスタ、新鮮な地場野菜など、地域自慢の特産品も楽しく分かりやすく紹介しています。

編集室は女性5名・男性1名の個性豊かなメンバーで構成され、若手から子育て中のママ、ベテランまで幅広い層が活躍中です。企画から取材、編集まで、日々アイデアを出し合いながら、読者に「面白い!」「行ってみたい!」と思っていただけの誌面づくりを心がけています。

高崎の魅力を、明るく前向きに発信する編集室として、これからも地域のワクワクを届けてまいります。今後の『高崎フリモ』にぜひご期待ください。

（高崎フリモ編集室・関口）

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨今、人事系のニュースで「従業員エンゲージメント」というワードを目にします。個人的な好みで言えば、昭和世代としては「愛社精神バッチコイ」なのですが、時勢にはそぐわないのでしょうか。とはいえ、企業に対する誇りや共感が育つことで、働く人の幸福度は確実に高まると考えています。

日々懸命に働いていれば、つらいことが多々あると思います。「憂鬱でなければ、仕事じゃない」（講談社）という書籍があるように、仕事をしていれば憂鬱さはつきもの。そんな状況でも前へと進めるのは、「それでもこの会社が好きだ」と思える瞬間があるからではないでしょうか。

2026年、ステークホルダーの皆様はもちろん、社員一人一人の中にある「中広グループへの好き」がより高まる広報活動に努めてまいります。本年もよろしく願いいたします。

（広報・マーケティング 岡本）

BOOK HAPPY MEDIA

『ままこっと®』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン



【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
 【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
 【仕様】 冊子A5版 オールカラー

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア



【配布先】 高校
 【仕様】 冊子A4 オールカラー
 【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県

『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア



【設置先】 県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など
 【仕様】 冊子AB版 オールカラー
 【発行時期】 隔週（月・火）※山形月一

「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【登録講師数】 7,000名
 【年間実施件数】 400件以上



クリック!

クーポンアプリ「フリモ」

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える! ※ダウンロード数 535,933件 (2025年12月20日現在)



クリック!

<p>■本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p>	<p>《福井県》 きらめきくらぶ編集室 敦賀市野村40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p>	<p>《愛知県》 フリモUP編集室 名古屋市中川区藤森町107 2F TEL.052-355-6111</p>	<p>こはくくらぶ編集室 米子市西福南2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p>	<p>■アライアンス事業部 VC部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>
<p>■FM事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p>	<p>《山梨県》 ParuPi・ピグレ編集室 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682</p>	<p>緑区フリモ編集室 名古屋市長区六田1-150 2F TEL.052-829-0270</p>	<p>《広島県》 はつカラ編集室 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673</p>	<p>■EC統括室 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p>
<p>■FM事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p>	<p>《岐阜県》 GiFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p>	<p>守山フリモ・アサヒトセト編集室 尾張守山市東本地ヶ原町3-53 2F [守山フリモ] TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト] TEL.0561-42-6981</p>	<p>《広島県》 えるびん編集室 福山市西町2丁目 5-5 2F TEL.084-999-1535</p>	<p>■管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課] TEL.058-246-0285</p>
<p>AO編集室 吉小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704</p>	<p>SARUBOBO編集室 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p>	<p>ゆいまるくらぶ・かなうくらぶ あやまちこ編集室 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ] TEL.0561-42-4850 [かなうくらぶ] TEL.0561-42-4855 [あやまちこ] TEL.0561-42-4885</p>	<p>《福岡県》 まいたんう編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p>	<p>■グループ会社 株式会社中広ワークイン 本社 仙台市若林区舟丁18-2 3F TEL.022-225-8010</p>
<p>《宮城県》 とみず!編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p>	<p>Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!] TEL.0584-75-1960 [mintoup] TEL.0584-77-4088 [はしまる] TEL.0584-71-6226</p>	<p>cocolu club・安城フリモ 北知多フリモ編集室 知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077</p>	<p>《佐賀県》 月刊TOSS編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p>	<p>株式会社関西ほど 本社 大阪市西区堀本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p>
<p>なうてい!編集室 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p>	<p>GUJOプラス編集室 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p>	<p>リブル倶楽部編集室 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p>	<p>《佐賀県》 びわこと編集室 大津市北沢1[難津・守山版] TEL.077-521-3911</p>	<p>株式会社中広メディアソリューションズ 本社／横浜オフィス 横浜市内西区みなとみらい3-3-3 11F TEL.045-514-1409</p>
<p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ] TEL.027-353-8714 [前橋フリモ] TEL.027-353-8711</p>	<p>きららくらぶ編集室 関山市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p>	<p>岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町字川端19-13 4F TEL.0564-83-7121</p>	<p>《奈良県》 かしらくらぶ編集室 橿原市新賀町237-1 2F TEL.0744-48-0606</p>	<p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曽川町里小牧寺東125 TEL.0586-86-0608</p>
<p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ] TEL.027-353-8714 [前橋フリモ] TEL.027-353-8711</p>	<p>かにさんくらぶ編集室 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p>	<p>《三重県》 はるんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p>	<p>《和歌山県》 まいながが・まいとん編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p>	<p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
<p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p>	<p>おりべくらぶ・らせんくらぶ編集室 多治見市太平町4-38 [おりべくらぶ] TEL.0572-21-2626 [らせんくらぶ] TEL.0572-55-2033</p>	<p>Bellve club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p>	<p>《奈良県》 かしらくらぶ編集室 橿原市新賀町237-1 2F TEL.0744-48-0606</p>	<p>株式会社</p>